



# ベルランド総合病院 がん化学療法採用レジメン一覧

**胃**

## mFOLFOX6

催吐リスク: 3

**適応疾患:** 切除不能・再発胃がん

**投与スケジュール:** 2週1コース

使用抗悪性腫瘍剤、推奨投与量、投与日

薬剤名	推奨投与量	投与日
オキサリプラチン	85 mg/m2	d1
フルオロウラシル(45時間持続)	2400 mg/m2	d1～
フルオロウラシル(bolus)	400 mg/m2	d1
レボホリナート	200 mg/m2	d1

## mFOLFOX6+トラスツズマブ

催吐リスク: 3

**適応疾患:** HER2過剰発現が確認された胃がん(進行・再発)

**投与スケジュール:** 6週1コース

使用抗悪性腫瘍剤、推奨投与量、投与日

薬剤名	推奨投与量	投与日
オキサリプラチン	85 mg/m2	d1、15、29
トラスツズマブ(2回目以降)	6 mg/kg	d1、22
トラスツズマブ(初回)	8 mg/kg	d1、22
フルオロウラシル(46時間持続)	2400 mg/m2	d1、15、29
フルオロウラシル(bolus)	400 mg/m2	d1、15、29
レボホリナート	200 mg/m2	d1、15、29

## mFOLFOX6+ニボルマブ

催吐リスク: 3

**適応疾患:** HER2陰性の化学未治療の切除不能な進行又は再発胃癌

**投与スケジュール:** 2週1コース

使用抗悪性腫瘍剤、推奨投与量、投与日

薬剤名	推奨投与量	投与日
オキサリプラチン	85 mg/m2	d1
オプジー <sup>®</sup>	240 mg/body	d1
フルオロウラシル(45時間持続)	2400 mg/m2	d1～
フルオロウラシル(bolus)	400 mg/m2	d1
レボホリナート	200 mg/m2	d1

## SOX

催吐リスク: 3

**適応疾患:** 胃がん(切除不能・再発)

**投与スケジュール:** 3週1コース

使用抗悪性腫瘍剤、推奨投与量、投与日

薬剤名	推奨投与量	投与日
オキサリプラチン	130 mg/m2	d1
ティーエスワン(内服)	80 mg/m2	d1～14→1週休薬

## SOX+トラスツズマブ

催吐リスク: 3

適応疾患: HER2過剰発現が確認された胃がん(進行・再発)

投与スケジュール: 3週1コース

使用抗悪性腫瘍剤、推奨投与量、投与日

薬剤名	推奨投与量	投与日
オキサリプラチン	130 mg/m2	d1
ティーエスワン(内服)	80 mg/m2	d1～14→1週休薬
トラスツズマブ(2回目以降)	6 mg/kg	d1
トラスツズマブ(初回)	8 mg/kg	d1

## SOX+ニボルマブ

催吐リスク: 3

適応疾患: HER2陰性の化学未治療の切除不能な進行又は再発胃癌

投与スケジュール: 3週1コース

使用抗悪性腫瘍剤、推奨投与量、投与日

薬剤名	推奨投与量	投与日
オキサリプラチン	130 mg/m2	d1
オプジーボ	360 mg/body	d1
ティーエスワン(内服)	80 mg/m2	d1～14→1週休薬

## SOX+ペムプロリズマブ

催吐リスク: 3

適応疾患: HER2陰性の化学未治療の切除不能な進行又は再発胃癌

投与スケジュール: 3週1コース (オキサリプラチンは6コースまで)

使用抗悪性腫瘍剤、推奨投与量、投与日

薬剤名	推奨投与量	投与日
オキサリプラチン	130 mg/m2	d1
キトルーダ	200 mg/body	d1
ティーエスワン(内服)	80-120 mg	d1～14→1週休薬

## weekly アルブミン懸濁型パクリタキセル

催吐リスク: 2

適応疾患: 胃がん(進行・再発)

投与スケジュール: 4週1コース

使用抗悪性腫瘍剤、推奨投与量、投与日

薬剤名	推奨投与量	投与日
アブラキサン	100 mg/m2	d1, 8, 15

## XELOX

催吐リスク: 3

適応疾患: 胃がん(切除不能・再発)

投与スケジュール: 3週1コース

使用抗悪性腫瘍剤、推奨投与量、投与日

薬剤名	推奨投与量	投与日
オキサリプラチン	130 mg/m2	d1
ゼローダ(内服)	2000 mg/m2	d1～14→1週休薬

## XELOX+トラスツズマブ

催吐リスク: 3

適応疾患: HER2過剰発現が確認された胃がん(進行・再発)

投与スケジュール: 3週1コース

使用抗悪性腫瘍剤、推奨投与量、投与日

薬剤名	推奨投与量	投与日
オキサリプラチン	130 mg/m2	d1
ゼローダ(内服)	2000 mg/m2	d1～14→1週休薬
トラスツズマブ(2回目以降)	6 mg/kg	d1
トラスツズマブ(初回)	8 mg/kg	d1

## XELOX+ニボルマブ

催吐リスク: 3

適応疾患: HER2陰性の化学未治療の切除不能な進行又は再発胃癌

投与スケジュール: 3週1コース

使用抗悪性腫瘍剤、推奨投与量、投与日

薬剤名	推奨投与量	投与日
オキサリプラチン	130 mg/m2	d1
オプジー <sup>ボ</sup>	360 mg/body	d1
ゼローダ(内服)	2000 mg/m2	d1～14→1週休薬

## XELOX+ペムプロリズマブ

催吐リスク: 3

適応疾患: HER2陰性の化学未治療の切除不能な進行又は再発胃癌

投与スケジュール: 3週1コース (オキサリプラチンは6コースまで)

使用抗悪性腫瘍剤、推奨投与量、投与日

薬剤名	推奨投与量	投与日
オキサリプラチン	130 mg/m2	d1
キイトルーダ	200 mg/body	d1
ゼローダ(内服)	2000 mg/m2	d1～14→1週休薬

## アルブミン懸濁型パクリタキセル

催吐リスク: 2

適応疾患: 胃がん(進行・再発)

投与スケジュール: 3週1コース

使用抗悪性腫瘍剤、推奨投与量、投与日

薬剤名	推奨投与量	投与日
アブラキサン	260 mg/m2	d1

## イリノテカン(2週1コース)

催吐リスク: 3

適応疾患: 胃がん(進行・再発)

投与スケジュール: 2週1コース

使用抗悪性腫瘍剤、推奨投与量、投与日

薬剤名	推奨投与量	投与日
イリノテカン	150 mg/m2	d1

## イリノテカン(5週1コース)

催吐リスク: 3

適応疾患: 胃がん(進行・再発)

投与スケジュール: 5週1コース

使用抗悪性腫瘍剤、推奨投与量、投与日

薬剤名	推奨投与量	投与日
イリノテカン	100 mg/m2	d1、8、15

## イリノテカン+シスプラチニン(4週1コース)

催吐リスク: 4

適応疾患: 切除不能胃がん

投与スケジュール: 4週1コース

使用抗悪性腫瘍剤、推奨投与量、投与日

薬剤名	推奨投与量	投与日
イリノテカン	70 mg/m2	d1、15
シスプラチニン	80 mg/m2	d1

## オプジー<sup>ボ</sup>(2週1コース)

催吐リスク: 1

適応疾患: 胃癌(進行・再発)

投与スケジュール: 2週1コース

使用抗悪性腫瘍剤、推奨投与量、投与日

薬剤名	推奨投与量	投与日
オプジー <sup>ボ</sup>	240 mg/body	d1

## カペシタビン+シスプラチニ

催吐リスク: 4

適応疾患: 胃がん(進行・再発)

投与スケジュール: 3週1コース

使用抗悪性腫瘍剤、推奨投与量、投与日

薬剤名	推奨投与量	投与日
シスプラチニ	80 mg/m <sup>2</sup>	d1
ゼローダ(内服)	2000 mg/m <sup>2</sup>	d1～14→1週休薬

## カペシタビン+シスプラチニ[ショートハイドレーション]

催吐リスク: 4

適応疾患: 胃がん(進行・再発)

投与スケジュール: 3週1コース

使用抗悪性腫瘍剤、推奨投与量、投与日

薬剤名	推奨投与量	投与日
シスプラチニ	80 mg/m <sup>2</sup>	d1
ゼローダ(内服)	2000 mg/m <sup>2</sup>	d1～14→1週休薬

## カペシタビン+シスプラチニ+トラスツズマブ

催吐リスク: 4

適応疾患: HER2過剰発現が確認された胃がん(進行・再発)

投与スケジュール: 3週1コース

使用抗悪性腫瘍剤、推奨投与量、投与日

薬剤名	推奨投与量	投与日
シスプラチニ	80 mg/m <sup>2</sup>	d1
ゼローダ(内服)	2000 mg/m <sup>2</sup>	d1～14→1週休薬
トラスツズマブ(2回目以降)	6 mg/kg	d1
トラスツズマブ(初回)	8 mg/kg	d1

## カペシタビン+シスプラチニ+トラスツズマブ[ショートハイドレーション]

催吐リスク: 4

適応疾患: HER2過剰発現が確認された胃がん(進行・再発)

投与スケジュール: 3週1コース

使用抗悪性腫瘍剤、推奨投与量、投与日

薬剤名	推奨投与量	投与日
シスプラチニ	80 mg/m <sup>2</sup>	d1
ゼローダ(内服)	2000 mg/m <sup>2</sup>	d1～14→1週休薬
トラスツズマブ(2回目以降)	6 mg/kg	d1
トラスツズマブ(初回)	8 mg/kg	d1

## カペシタビン+トラスツズマブ

催吐リスク: 1

適応疾患: HER2過剰発現が確認された胃がん(進行・再発)

投与スケジュール: 3週1コース

使用抗悪性腫瘍剤、推奨投与量、投与日

薬剤名	推奨投与量	投与日
ゼローダ(内服)	2000 mg/m <sup>2</sup>	d1～14→1週休薬
トラスツズマブ(2回目以降)	6 mg/kg	d1
トラスツズマブ(初回)	8 mg/kg	d1

## カペシタビン+ペムプロリズマブ《ペムプロリズマブ併用レジメン使用後》

催吐リスク: 1

適応疾患: HER2陰性の化学未治療の切除不能な進行又は再発胃癌

投与スケジュール: 3週1コース(前治療含め35コース予定)

使用抗悪性腫瘍剤、推奨投与量、投与日

薬剤名	推奨投与量	投与日
キイトルーダ	200 mg/body	d1
ゼローダ(内服)	2000 mg/m2	d1～14→1週休薬

## ゾルベツキシマブ+mFOLFOX6

催吐リスク: 4

適応疾患: CLDN18.2陽性HER2陰性の切除不能進行・再発胃がん

投与スケジュール: 2週1コース

使用抗悪性腫瘍剤、推奨投与量、投与日

薬剤名	推奨投与量	投与日
オキサリプラチン	85 mg/m2	d1
ビロイ《2回目以降》	400 mg/m2	d1
ビロイ《初回》	800 mg/m2	d1
フルオロウラシル(46時間持続)	2400 mg/m2	d1～
フルオロウラシル(bolus)	400 mg/m2	d1
レボホリナート	200 mg/m2	d1

## ゾルベツキシマブ+SOX

催吐リスク: 4

適応疾患: CLDN18.2陽性HER2陰性の切除不能進行・再発胃がん

投与スケジュール: 3週1コース

使用抗悪性腫瘍剤、推奨投与量、投与日

薬剤名	推奨投与量	投与日
オキサリプラチン	130 mg/m2	d1
ティーエスワン(内服)	80 mg/m2	d1～14→1週休薬
ビロイ《2回目以降》	600 mg/m2	d1
ビロイ《初回》	800 mg/m2	d1

## ゾルベツキシマブ+XELOX

催吐リスク: 4

適応疾患: CLDN18.2陽性HER2陰性の切除不能進行・再発胃がん

投与スケジュール: 3週1コース

使用抗悪性腫瘍剤、推奨投与量、投与日

薬剤名	推奨投与量	投与日
オキサリプラチン	130 mg/m2	d1
カペシタビン(内服)	2000 mg/m2	d1～14→1週休薬
ビロイ《2回目以降》	600 mg/m2	d1
ビロイ《初回》	800 mg/m2	d1

## ティーエスワン+シスプラチニ

催吐リスク: 4

適応疾患: 胃がん

投与スケジュール: 5週1コース

使用抗悪性腫瘍剤、推奨投与量、投与日

薬剤名	推奨投与量	投与日
シスプラチニ	60 mg/m2	d8
ティーエスワン(内服)	80 mg/m2	d1～21→2週休薬

## ティーエスワン+シスプラチン[ショートハイドレーション]

催吐リスク: 4

適応疾患: 胃がん

投与スケジュール: 5週1コース

使用抗悪性腫瘍剤、推奨投与量、投与日

薬剤名	推奨投与量	投与日
シスプラチン	60 mg/m2	d8
ティーエスワン(内服)	80 mg/m2	d1～21→2週休薬

## ティーエスワン+シスプラチントラスツズマブ

催吐リスク: 4

適応疾患: HER2過剰発現が確認された胃がん(進行・再発)

投与スケジュール: 3週1コース

使用抗悪性腫瘍剤、推奨投与量、投与日

薬剤名	推奨投与量	投与日
シスプラチン	60 mg/m2	d1
ティーエスワン(内服)	80 mg/m2	d1～14→1週休薬
トラスツズマブ(2回目以降)	6 mg/kg	d1
トラスツズマブ(初回)	8 mg/kg	d1

## ティーエスワン+ドセタキセル

催吐リスク: 2

適応疾患: 進行・再発胃がん

投与スケジュール: 3週1コース

使用抗悪性腫瘍剤、推奨投与量、投与日

薬剤名	推奨投与量	投与日
ティーエスワン(内服)	80 mg/m2	d1～14→1週休薬
ドセタキセル	40 mg/m2	d1

## ティーエスワン+ドセタキセル+トラスツズマブ

催吐リスク: 2

適応疾患: HER2過剰発現が確認された胃がん(進行・再発)

投与スケジュール: 3週1コース

使用抗悪性腫瘍剤、推奨投与量、投与日

薬剤名	推奨投与量	投与日
ティーエスワン(内服)	80 mg/m2	d1～14→1週休薬
ドセタキセル	40 mg/m2	d1
トラスツズマブ(2回目以降)	6 mg/kg	d1
トラスツズマブ(初回)	8 mg/kg	d1

## ティーエスワン+トラスツズマブ

催吐リスク: 1

適応疾患: HER2過剰発現が確認された胃がん(進行・再発)

投与スケジュール: 3週1コース

使用抗悪性腫瘍剤、推奨投与量、投与日

薬剤名	推奨投与量	投与日
ティーエスワン(内服)	80 mg/m2	d1～14→1週休薬
トラスツズマブ(2回目以降)	6 mg/kg	d1
トラスツズマブ(初回)	8 mg/kg	d1

## ティーエスワン+ペムプロリズマブ《ペムプロリズマブ併用レジメン使用後》

催吐リスク: 1

適応疾患: HER2陰性の化学未治療の切除不能な進行又は再発胃癌

投与スケジュール: 3週1コース(前治療含め35コース予定)

使用抗悪性腫瘍剤、推奨投与量、投与日

薬剤名	推奨投与量	投与日
キイトルーダ	200 mg/body	d1
ティーエスワン(内服)	80-120 mg	d1～14→1週休薬

## ドセタキセル

催吐リスク: 2

適応疾患: 再発・進行胃がん

投与スケジュール: 3週1コース

使用抗悪性腫瘍剤、推奨投与量、投与日

薬剤名	推奨投与量	投与日
ドセタキセル	60 mg/m <sup>2</sup>	d1

## ドセタキセル+オキサリプラチナ+ティーエスワン

催吐リスク: 3

適応疾患: 切除可能局所進行胃癌(術前)

投与スケジュール: 3週1コース(3コース予定)

使用抗悪性腫瘍剤、推奨投与量、投与日

薬剤名	推奨投与量	投与日
オキサリプラチナ	100 mg/m <sup>2</sup>	d1
ティーエスワン(内服)	80 mg/m <sup>2</sup>	d1～14→1週休薬
ドセタキセル	40 mg/m <sup>2</sup>	d1

## トラスツズマブ デルクステカン

催吐リスク: 3

適応疾患: 進行胃がん

投与スケジュール: 3週1コース

使用抗悪性腫瘍剤、推奨投与量、投与日

薬剤名	推奨投与量	投与日
エンハーツ	6.4 mg/kg	d1

## ニボルマブ(4週1コース)

催吐リスク: 1

適応疾患: 胃癌(進行・再発)

投与スケジュール: 4週1コース

使用抗悪性腫瘍剤、推奨投与量、投与日

薬剤名	推奨投与量	投与日
オプジーボ	480 mg/body	d1

## パクリタキセル

催吐リスク: 2

適応疾患: 胃がん(進行・再発)

投与スケジュール: 4週1コース

使用抗悪性腫瘍剤、推奨投与量、投与日

薬剤名	推奨投与量	投与日
パクリタキセル	80 mg/m <sup>2</sup>	d1、8、15

## パクリタキセル+トラスツズマブ

催吐リスク: 2

適応疾患: HER2過剰発現が確認された胃がん(進行・再発)

投与スケジュール: 12週1コース

使用抗悪性腫瘍剤、推奨投与量、投与日

薬剤名	推奨投与量	投与日
トラスツズマブ(Day1)	8 mg/kg	d1
トラスツズマブ (Day22,43)	6 mg/kg	初回以降3週間隔
パクリタキセル	80 mg/m <sup>2</sup>	d1、8、15を4週毎

## フルオロウラシル+シスプラチン+トラスツズマブ

催吐リスク: 4

適応疾患: HER2過剰発現が確認された胃がん(進行・再発)

投与スケジュール: 3週1コース

使用抗悪性腫瘍剤、推奨投与量、投与日

薬剤名	推奨投与量	投与日
シスプラチン	80 mg/m2	d1
トラスツズマブ(2回目以降)	6 mg/kg	d1
トラスツズマブ(初回)	8 mg/kg	d1
フルオロウラシル	800 mg/m2	d1～5

## フルオロウラシル+メトレキサート+ホリナート

催吐リスク: 2

適応疾患: 胃がん(進行・再発)

投与スケジュール: 2～3週1コース

使用抗悪性腫瘍剤、推奨投与量、投与日

薬剤名	推奨投与量	投与日
フルオロウラシル	600 mg/m2	d1
メソトレキサート	100 mg/m2	d1
ロイコボリン(内服) (5mg) 2錠 × 6回(6時間ごと)		d1

## フルオロウラシル5日間持続療法

催吐リスク: 2

適応疾患: 胃がん(切除不能又は再発)

投与スケジュール: 4週1コース

使用抗悪性腫瘍剤、推奨投与量、投与日

薬剤名	推奨投与量	投与日
フルオロウラシル	800 mg/m2	d1～5

## ラムシルマブ

催吐リスク: 1

適応疾患: 進行・再発胃癌

投与スケジュール: 2週1コース

使用抗悪性腫瘍剤、推奨投与量、投与日

薬剤名	推奨投与量	投与日
サイラムザ	8 mg/kg	d1

## ラムシルマブ+アルブミン懸濁型パクリタキセル

催吐リスク: 2

適応疾患: 進行・再発胃癌

投与スケジュール: 4週1コース

使用抗悪性腫瘍剤、推奨投与量、投与日

薬剤名	推奨投与量	投与日
アブラキサン	100 mg/m2	d1、8、15
サイラムザ	8 mg/kg	d1、15

## ラムシルマブ+パクリタキセル

催吐リスク: 2

適応疾患: 進行・再発胃癌

投与スケジュール: 4週1コース

使用抗悪性腫瘍剤、推奨投与量、投与日

薬剤名	推奨投与量	投与日
サイラムザ	8 mg/kg	d1、15
パクリタキセル	80 mg/m2	d1、8、15

### 推奨投与量の単位

mg/m<sup>2</sup>:【体表面積】あたりの量

mg/kg:【体重】あたりの量

AUC:カルバートの式により算出 ⇒投与量(mg/body)=AUC目標値×(GFR+25)

### 略語の意味

NSCLC:非小細胞肺がん

SCLC:小細胞肺がん

PD:病勢進行